

野木町特定空家等判断基準（新旧対照表）

改正案	現行
<p>第1 はじめに</p> <p>平成27年5月に『空家等対策の推進に関する特別措置法』（以下 空家等特措法）が全面施行され、法の施行と併せて国土交通省から空家等特措法第14条第14項に基づき、特定空家等に対する措置に関し、その適切な実施を図るために必要な指針（以下 ガイドライン）が公表されました。<u>その後、空家等特措法附則第2項の規定に基づく検討結果や地方公共団体からの要望等を踏まえ令和3年6月に一部改正がされております。</u></p> <p>このガイドラインでは、特定空家等の判断の参考となる基準等、及び特定空家等に対する措置に係る手続について参考となる一般的な考え方が示されていますが、各市町村において地域の実情を反映しつつ、適宜固有の判断基準を定めることなどにより対応することが適当であるとされています。</p> <p>第2 略</p> <p>第3 略</p> <p>第4</p> <p>1～3 略</p> <p>4 特定空家等を判定する際の参考となる調査項目をリスト化し、現地調査等において調査項目の「①判定」及び「②周辺に及ぼす影響・危険等の切迫性」<u>の判断結果に基づき、21ページの「総合的判断」フローに従って判定を行う。</u></p> <hr/> <p><u>総合判定に移行した場合は、空家等特措法第2条2項に示されている状態に</u></p>	<p>第1 はじめに</p> <p>平成27年5月に『空家等対策の推進に関する特別措置法』（以下 空家等特措法）が全面施行され、法の施行と併せて国土交通省から空家等特措法第14条第14項に基づき、特定空家等に対する措置に関し、その適切な実施を図るために必要な指針（以下 ガイドライン）が公表されました。</p> <p>このガイドラインでは、特定空家等の判断の参考となる基準等、及び特定空家等に対する措置に係る手続について参考となる一般的な考え方が示されており、各市町村において地域の実情を反映しつつ、適宜固有の判断基準を定めることなどにより対応することが適当であるとされています。</p> <p>第2 略</p> <p>第3 略</p> <p>第4</p> <p>1～3 略</p> <p>4 特定空家等を判定する際の参考となる調査項目をリスト化し、現地調査等において調査項目の「①判定」及び「②周辺に及ぼす影響・危険等の切迫性」<u>を併せて判断をし、①の著しい、②危険共に該当する場合に、特定空家等と判定する。</u></p> <p><u>なお、①の著しいのみに該当する場合又は、①の著しいと②危険の判定の両</u></p>

該当するのか又は空家等特措法第2条2項に示されている状態になることが予見されるのか、野木町空家等対策協議会において協議し、最終的な判定を行う。

特定空家等判定チェックリスト

略

〔別紙1〕「そのまま放置すれば倒壊等著しく保安上危険となるおそれのある状態」

1 建築物が倒壊等著しく保安上危険又は将来そのような状態になることが予見される状態

(1) 建築物が倒壊等するおそれがある。

イ 建築物の著しい傾斜

調査項目	①判定		②周辺への影響と危険の切迫性
	左記の状態にある		
	状態が著しい		
1	建築物の崩壊、落階、上階とのずれが目視で確認できる。		
2	基礎が不同沈下又は建築物の傾斜が目視で確認できる。		
3	木造建築物について、1/20 超の傾斜が確認できる。2 階以上の階が傾斜している場合も同様である。		

方に該当する項目があるものの一定数に満たない等の場合は、総合判定に移行し、空家等特措法第2条2項に示されている状態に該当するのか、野木町空家等対策協議会において協議し、最終的な判定を行う。

特定空家等判定チェックリスト

略

〔別紙1〕「そのまま放置すれば倒壊等著しく保安上危険となるおそれのある状態」

1 建築物が著しく保安上危険となるおそれがある。

(1) 建築物が倒壊等するおそれがある。

イ 建築物の著しい傾斜

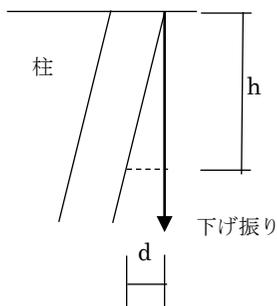
調査項目	①判定		②周辺への影響と危険の切迫性
	左記の状態にある		
	状態が著しい		
1	建築物の崩壊、落階、上階とのずれが目視で確認できる。		
2	基礎が不同沈下または建築物の傾斜が目視で確認できる。		
3	木造建築物について、1/20 超の傾斜が確認できる。2 階以上の階が傾斜している場合も同様である。		

4	鉄骨造建築物について、1/30 超の傾斜（傾斜を生じた階の上の階数が 1 階以下の場合）が確認できる。			
5	鉄骨造建築物について、1/50 超の傾斜（傾斜を生じた階の上の階数が 2 階以上の場合）が確認できる。			

傾斜  $d/h = ( \quad )$

内容を具体的に記載 [  ]

長押



※傾斜の測り方

参考：「被災建築物応急危険度判定マニュアル 一般財団法人 日本建築防災協会、全国被災建築物応急危険度判定協議会」に加筆 より

敷地境界（道路境界、隣地境界）までの離れが軒高以下（目測）

■敷地境界までの離れ ( ) 概ね(m)

■軒高 ( ) 概ね(m)

■周囲の状況  公道に面している  人家密集地  交通が多い  通学路がある

特定空家等と判定

(①判定「状態が著しい」と②周辺への影響と危険の切迫性の両方に○)

総合判定に移る

(①判定「状態が著しい」が○、②周辺への影響と危険の切迫性が×)

(①判定「左記の状態にある」が○、②周辺への影響と危険の切迫性が○又は×)

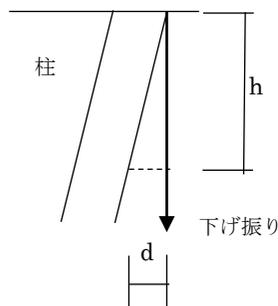
【特記事項】

4	鉄骨造建築物について、1/30 超の傾斜（傾斜を生じた階の上の階数が 1 階以下の場合）が確認できる。			
5	鉄骨造建築物について、1/50 超の傾斜（傾斜を生じた階の上の階数が 2 階以上の場合）が確認できる。			

傾斜  $d/h = ( \quad )$

内容を具体的に記載 [  ]

長押



※傾斜の測り方

参考：「被災建築物応急危険度判定マニュアル 一般財団法人 日本建築防災協会、全国被災建築物応急危険度判定協議会」に加筆 より

敷地境界（道路境界、隣地境界）までの離れが軒高以下（目測）

■敷地境界までの離れ ( ) 概ね(m)

■軒高 ( ) 概ね(m)

■周囲の状況  公道に面している  人家密集地  交通が多い  通学路がある

特定空家等と判定

(①判定「状態が著しい」と②周辺への影響と危険の切迫性の両方に○)

総合判定に移る

(①判定「状態が著しい」が○、②周辺への影響と危険の切迫性が×)

(①判定「左記の状態にある」が○、②周辺への影響と危険の切迫性が○又は×)

【特記事項】

□ 建築物の構造耐力上主要な部分の損傷等

(イ) 基礎及び土台

※(凡例)「○」:該当する 「×」:該当しない 「無」:判断材料なし 「不」:判定不能

調査項目	① 判定 左記の状態にある		②周辺への影響と危険の切迫性	
	状態が著しい		通行人や近隣 住民へ被害が 及ぶ可能性	
1 基礎の大きな亀裂や多数のひび割れ、破損又は変形が目視で確認できる。				
<ひび割れ> 幅 ( ) mm ・ ( ) ヶ所 測定不能 (理由: )				
2 土台の腐朽、破損、変形又は蟻害が目視で確認できる。				
3 基礎と土台のずれが目視で確認できる。				
4 直接地面に接する土台又は掘立柱等の腐朽、破損または蟻害が目視で確認できる。				
5 基礎と土台の緊結金物の腐食、脱落が目視で確認できる。				
特定空家等と判定 (①判定「状態が著しい」と②周辺への影響と危険の切迫性の両方に○)				
総合判定に移る (①判定「状態が著しい」が○、②周辺への影響と危険の切迫性が×) (①判定「左記の状態にある」が○、②周辺への影響と危険の切迫性が○又は×)				

【特記事項】

(ロ) 柱、はり、筋かい、柱とはりの接合等

※(凡例)「○」:該当する 「×」:該当しない 「無」:判断材料なし 「不」:判定不能

□ 建築物の構造耐力上主要な部分の損傷等

(イ) 基礎及び土台

※(凡例)「○」:該当する 「×」:該当しない 「無」:判断材料なし 「不」:判定不能

調査項目	② 判定 左記の状態にある		②周辺への影響と危険の切迫性	
	状態が著しい		通行人や近隣 住民へ被害が 及ぶ可能性	
1 基礎の大きな亀裂や多数のひび割れ、破損または変形が目視で確認できる。				
<ひび割れ> 幅 ( ) mm ・ ( ) ヶ所 測定不能 (理由: )				
2 土台の腐朽、破損、変形または蟻害が目視で確認できる。				
3 基礎と土台のずれが目視で確認できる。				
4 直接地面に接する土台または掘立柱等の腐朽、破損または蟻害が目視で確認できる。				
5 基礎と土台の緊結金物の腐食、脱落が目視で確認できる。				
特定空家等と判定 (①判定「状態が著しい」と②周辺への影響と危険の切迫性の両方に○)				
総合判定に移る (①判定「状態が著しい」が○、②周辺への影響と危険の切迫性が×)				

【特記事項】

(ロ) 柱、はり、筋かい、柱とはりの接合等

※(凡例)「○」:該当する 「×」:該当しない 「無」:判断材料なし 「不」:判定不能

調査項目	①判定		②周辺への影響と危険の切迫性	
	左記の状態にある		通行人や近隣住民へ被害が及ぶ可能性	
	状態が著しい			
1	柱、はり、筋かいに大きな亀裂や多数のひび割れ、腐朽、破損、 変形又は蟻害が目視で確認できる。			
	<input type="checkbox"/> 柱 ( <input type="checkbox"/> ひび割れ <input type="checkbox"/> 腐朽 <input type="checkbox"/> 破損 <input type="checkbox"/> 変形 <input type="checkbox"/> 蟻害 ) <input type="checkbox"/> はり ( <input type="checkbox"/> ひび割れ <input type="checkbox"/> 腐朽 <input type="checkbox"/> 破損 <input type="checkbox"/> 変形 <input type="checkbox"/> 蟻害 ) <input type="checkbox"/> 筋かい ( <input type="checkbox"/> ひび割れ <input type="checkbox"/> 腐朽 <input type="checkbox"/> 破損 <input type="checkbox"/> 変形 <input type="checkbox"/> 蟻害 )			
2	柱とはりのずれ又は脱落が目視で確認できる。			
3	柱とはりの接合部の腐食、脱落が目視で確認できる。			
特定空家等と判定 (①判定「状態が著しい」と②周辺への影響と危険の切迫性の両方に○)				
総合判定に移る (①判定「状態が著しい」が○、②周辺への影響と危険の切迫性が×) (①判定「左記の状態にある」が○、②周辺への影響と危険の切迫性が○又は×)				
【特記事項】				
(2)屋根、外壁等が脱落、飛散等するおそれがある。				
(イ) 屋根ふき材、ひさし又は軒				
※(凡例)「○」:該当する 「×」:該当しない 「無」:判断材料なし 「不」:判定不能				

調査項目	①判定		②周辺への影響と危険の切迫性	
	左記の状態にある		通行人や近隣住民へ被害が及ぶ可能性	
	状態が著しい			
1	柱、はり、筋かいに大きな亀裂や多数のひび割れ、腐朽、破損、 変形または蟻害が目視で確認できる。			
	<input type="checkbox"/> 柱 ( <input type="checkbox"/> ひび割れ <input type="checkbox"/> 腐朽 <input type="checkbox"/> 破損 <input type="checkbox"/> 変形 <input type="checkbox"/> 蟻害 ) <input type="checkbox"/> はり ( <input type="checkbox"/> ひび割れ <input type="checkbox"/> 腐朽 <input type="checkbox"/> 破損 <input type="checkbox"/> 変形 <input type="checkbox"/> 蟻害 ) <input type="checkbox"/> 筋かい ( <input type="checkbox"/> ひび割れ <input type="checkbox"/> 腐朽 <input type="checkbox"/> 破損 <input type="checkbox"/> 変形 <input type="checkbox"/> 蟻害 )			
2	柱とはりのずれまたは脱落が目視で確認できる。			
3	柱とはりの接合部の腐食、脱落が目視で確認できる。			
特定空家等と判定 (①判定「状態が著しい」と②周辺への影響と危険の切迫性の両方に○)				
総合判定に移る (①判定「状態が著しい」が○、②周辺への影響と危険の切迫性が×)				
【特記事項】				
(2)屋根、外壁等が脱落、飛散等するおそれがある。				
(イ) 屋根ふき材、ひさし又は軒				
※(凡例)「○」:該当する 「×」:該当しない 「無」:判断材料なし 「不」:判定不能				

調査項目	①判定	②周辺への影響と危険の切迫性	
		左記の状態にある	通行人や近隣住民へ被害が及ぶ可能性
1	屋根の落ち込みや浮き上がりなどの変形、破損などが目視で確認できる。	状態が著しい	
2	屋根ふき材（瓦やトタンなど）が剥落又は飛散のおそれがある。		
<input type="checkbox"/> 剥落（ <input type="checkbox"/> 一部 <input type="checkbox"/> 大部分） 目視観察（状態を記入）〔 〕			
3	軒の裏板、たる木等の腐朽や破損が目視で確認できる。		
<input type="checkbox"/> 腐朽（ <input type="checkbox"/> 一部 <input type="checkbox"/> 大部分） <input type="checkbox"/> 破損（ <input type="checkbox"/> 一部 <input type="checkbox"/> 大部分） 目視観察（状態を記入）〔 〕			
4	雨樋が垂れ下がっている又は雨樋の著しい変形や留め具の傷みにより脱落や飛散のおそれがある。		
<input type="checkbox"/> 垂れ下がり <input type="checkbox"/> 脱落 目視観察（状態を記入）〔 〕			
5	ひさしの腐朽、破損や剥落が目視で確認できる。		
<input type="checkbox"/> 腐朽（ <input type="checkbox"/> 一部 <input type="checkbox"/> 大部分） <input type="checkbox"/> 破損（ <input type="checkbox"/> 一部 <input type="checkbox"/> 大部分） 目視観察（状態を記入）〔 〕			
6	軒が垂れ下がっている。		
7	その他著しく保安上危険となるおそれがある。 ( )		
特定空家等と判定 (①判定「状態が著しい」と②周辺への影響と危険の切迫性の両方に○)			
総合判定に移る (①判定「状態が著しい」が○、②周辺への影響と危険の切迫性が×) <b>(①判定「左記の状態にある」が○、②周辺への影響と危険の切迫性が○又は×)</b>			
【特記事項】			

調査項目	①判定	②周辺への影響と危険の切迫性	
		左記の状態にある	通行人や近隣住民へ被害が及ぶ可能性
1	屋根の落ち込みや浮き上がりなどの変形、破損などが目視で確認できる。	状態が著しい	
2	屋根ふき材（瓦やトタンなど）が剥落又は飛散のおそれがある。		
<input type="checkbox"/> 剥落（ <input type="checkbox"/> 一部 <input type="checkbox"/> 大部分） 目視観察（状態を記入）〔 〕			
3	軒の裏板、たる木等の腐朽や破損が目視で確認できる。		
<input type="checkbox"/> 腐朽（ <input type="checkbox"/> 一部 <input type="checkbox"/> 大部分） <input type="checkbox"/> 破損（ <input type="checkbox"/> 一部 <input type="checkbox"/> 大部分） 目視観察（状態を記入）〔 〕			
4	雨樋が垂れ下がっている又は雨樋の著しい変形や留め具の傷みにより脱落や飛散のおそれがある。		
<input type="checkbox"/> 垂れ下がり <input type="checkbox"/> 脱落 目視観察（状態を記入）〔 〕			
5	ひさしの腐朽、破損や剥落が目視で確認できる。		
<input type="checkbox"/> 腐朽（ <input type="checkbox"/> 一部 <input type="checkbox"/> 大部分） <input type="checkbox"/> 破損（ <input type="checkbox"/> 一部 <input type="checkbox"/> 大部分） 目視観察（状態を記入）〔 〕			
6	軒が垂れ下がっている。		
7	その他著しく保安上危険となるおそれがある。 ( )		
特定空家等と判定 (①判定「状態が著しい」と②周辺への影響と危険の切迫性の両方に○)			
総合判定に移る (①判定「状態が著しい」が○、②周辺への影響と危険の切迫性が×)			
【特記事項】			

(口) 外壁

※(凡例)「O」:該当する 「×」:該当しない 「無」:判断材料なし 「不」:判定不能

調査項目	①判定		②周辺への影響と危険の切迫性	
	左記の状態にある		外壁の破損等により第三者の侵入や火災などの危険性がある	外壁の落下により通行人や近隣住民等へ被害が及ぶ可能性がある
		状態が著しい		
1	壁体を破損等により貫通する穴が生じている。			
<穴の大きさ> ( ) cm ・ ( )ヶ所 目視観察(状態を記入) [ ]				
2	外壁の仕上げ材料が剥落、腐朽、破損している。又は腐朽、破損等により剥落・飛散などのおそれがある。			
<input type="checkbox"/> 剥落 ( <input type="checkbox"/> 一部 <input type="checkbox"/> 大部分 ) <input type="checkbox"/> 腐朽 ( <input type="checkbox"/> 一部 <input type="checkbox"/> 大部分 ) <input type="checkbox"/> 破損 ( <input type="checkbox"/> 一部 <input type="checkbox"/> 大部分 ) <input type="checkbox"/> 飛散 ( <input type="checkbox"/> 一部 <input type="checkbox"/> 大部分 ) 目視観察(状態を記入) [ ]				
3	外壁の剥落、腐朽、破損により下地が露出している。			
4	外壁のモルタルやタイル等の外装材に浮き上がりが目視で確認できる。			
<input type="checkbox"/> 一部 <input type="checkbox"/> 大部分 目視観察(状態を記入) [ ]				
5	外壁に大きなひび等があり、外壁の脱落等の危険性が目視で確認できる。			
<ひび割れ> ( ) mm ・ ( )ヶ所 脱落の危険性 <input type="checkbox"/> 有 <input type="checkbox"/> 無 測定不能 (理由: )				
6	窓や戸袋などが傷みや破損等により落下のおそれがある。			

(口) 外壁

※(凡例)「O」:該当する 「×」:該当しない 「無」:判断材料なし 「不」:判定不能

調査項目	①判定		②周辺への影響と危険の切迫性	
	左記の状態にある		外壁の破損等により第三者の侵入や火災などの危険性がある	外壁の落下により通行人や近隣住民等へ被害が及ぶ可能性がある
		状態が著しい		
1	壁体を 貫通する穴が生じている。			
<穴の大きさ> ( ) cm ・ ( )ヶ所 目視観察(状態を記入) [ ]				
2	外壁の仕上げ材料が剥落、腐朽、破損している。又は腐朽、破損等により剥落・飛散などのおそれがある。			
<input type="checkbox"/> 剥落 ( <input type="checkbox"/> 一部 <input type="checkbox"/> 大部分 ) <input type="checkbox"/> 腐朽 ( <input type="checkbox"/> 一部 <input type="checkbox"/> 大部分 ) <input type="checkbox"/> 破損 ( <input type="checkbox"/> 一部 <input type="checkbox"/> 大部分 ) <input type="checkbox"/> 飛散 ( <input type="checkbox"/> 一部 <input type="checkbox"/> 大部分 ) 目視観察(状態を記入) [ ]				
3	外壁の剥落、腐朽、破損により下地が露出している。			
4	外壁のモルタルやタイル等の外装材に浮き上がりが目視で確認できる。			
<input type="checkbox"/> 一部 <input type="checkbox"/> 大部分 目視観察(状態を記入) [ ]				
5	外壁に大きなひび等があり、外壁の脱落等の危険性が目視で確認できる。			
<ひび割れ> ( ) mm ・ ( )ヶ所 脱落の危険性 <input type="checkbox"/> 有 <input type="checkbox"/> 無 測定不能 (理由: )				
6	窓や戸袋などが傷みや破損等により落下のおそれがある。			

<落下のおそれ>  
 有 ( )ヶ所

7	その他著しく保安上危険となるおそれがある。 ( )			
特定空家等と判定 (①判定「状態が著しい」と②周辺への影響と危険の切迫性の両方に○)				
総合判定に移る (①判定「状態が著しい」が○、②周辺への影響と危険の切迫性が×) <b>(①判定「左記の状態にある」が○、②周辺への影響と危険の切迫性が○又は×)</b>				

<落下のおそれ>  
 有 ( )ヶ所

7	その他著しく保安上危険となるおそれがある。 ( )			
特定空家等と判定 (①判定「状態が著しい」と②周辺への影響と危険の切迫性の両方に○)				
総合判定に移る (①判定「状態が著しい」が○、②周辺への影響と危険の切迫性が×)				

【特記事項】

【特記事項】

(ハ) 看板、給湯設備、屋上水槽等

※(凡例)「○」:該当する 「×」:該当しない 「無」:判断材料なし 「不」:判定不能

調査項目	①判定		②周辺への影響と危険の切迫性	
	左記の状態にある 状態が著しい		通行人や近隣 住民へ被害が 及ぶ可能性	
1 看板の仕上げ材料が剥落している。 <input type="checkbox"/> 一部 <input type="checkbox"/> 大部分 目視観察(状態を記入) [ ]				
2 看板、給湯設備、屋上水槽等が破損や転倒、脱落している。 <input type="checkbox"/> 破損 ( <input type="checkbox"/> 一部 <input type="checkbox"/> 大部分 ) <input type="checkbox"/> 転倒 <input type="checkbox"/> 脱落 目視観察(状態を記入) [ ]				
3 看板、給湯設備、屋上水槽等の支持部分が腐食や破損していることが目視で確認できる。				
4 その他アンテナ、煙突、空調設備、配管など屋根や外壁等にある建物の付属物が転倒、破損などにより落下や飛				

(ハ) 看板、給湯設備、屋上水槽等

※(凡例)「○」:該当する 「×」:該当しない 「無」:判断材料なし 「不」:判定不能

調査項目	①判定		②周辺への影響と危険の切迫性	
	左記の状態にある 状態が著しい		通行人や近隣 住民へ被害が 及ぶ可能性	
1 看板の仕上げ材料が剥落している。 <input type="checkbox"/> 一部 <input type="checkbox"/> 大部分 目視観察(状態を記入) [ ]				
2 看板、給湯設備、屋上水槽等が破損や転倒、脱落している。 <input type="checkbox"/> 破損 ( <input type="checkbox"/> 一部 <input type="checkbox"/> 大部分 ) <input type="checkbox"/> 転倒 <input type="checkbox"/> 脱落 目視観察(状態を記入) [ ]				
3 看板、給湯設備、屋上水槽等の支持部分が腐食や破損していることが目視で確認できる。				
4 その他アンテナ、煙突、空調設備、配管など屋根や外壁等にある建物の付属物が転倒、破損などにより落下や飛				

	散のおそれがある。			
5	その他著しく保安上危険となるおそれがある。 ( )			
特定空家等と判定 (①判定「状態が著しい」と②周辺への影響と危険の切迫性の両方に○)				
総合判定に移る (①判定「状態が著しい」が○、②周辺への影響と危険の切迫性が×) <u>(①判定「左記の状態にある」が○、②周辺への影響と危険の切迫性が○又は×)</u>				

【特記事項】

(二) 屋外階段又はバルコニー

※(凡例)「○」:該当する 「×」:該当しない 「無」:判断材料なし 「不」:判定不能

調査項目	①判定	②周辺への影響と危険の切迫性	
		左記の状態にある	通行人や近隣住民へ被害が及ぶ可能性
1 屋外階段、バルコニーが腐食、破損又は脱落している。 <input type="checkbox"/> 腐食 ( <input type="checkbox"/> 一部 <input type="checkbox"/> 大部分 ) <input type="checkbox"/> 破損 ( <input type="checkbox"/> 一部 <input type="checkbox"/> 大部分 ) <input type="checkbox"/> 脱落 ( <input type="checkbox"/> 一部 <input type="checkbox"/> 大部分 ) 目視観察 (状態を記入) [ ]			
2 屋外階段、バルコニーの傾斜が目視で確認できる。			
3 屋外階段、バルコニーに歩行上支障があるひび割れ、錆、腐食等がある。			
4 屋外階段、バルコニーの手すりや格子にぐらつき、傾きがある。			
5 屋外階段、バルコニーのブラケットのはずれ、取付けビスのゆるみやはずれがある。			

	散のおそれがある。			
5	その他著しく保安上危険となるおそれがある。 ( )			
特定空家等と判定 (①判定「状態が著しい」と②周辺への影響と危険の切迫性の両方に○)				
総合判定に移る (①判定「状態が著しい」が○、②周辺への影響と危険の切迫性が×)				

【特記事項】

(二) 屋外階段又はバルコニー

※(凡例)「○」:該当する 「×」:該当しない 「無」:判断材料なし 「不」:判定不能

調査項目	①判定	②周辺への影響と危険の切迫性	
		左記の状態にある	通行人や近隣住民へ被害が及ぶ可能性
1 屋外階段、バルコニーが腐食、破損又は脱落している。 <input type="checkbox"/> 腐食 ( <input type="checkbox"/> 一部 <input type="checkbox"/> 大部分 ) <input type="checkbox"/> 破損 ( <input type="checkbox"/> 一部 <input type="checkbox"/> 大部分 ) <input type="checkbox"/> 脱落 ( <input type="checkbox"/> 一部 <input type="checkbox"/> 大部分 ) 目視観察 (状態を記入) [ ]			
2 屋外階段、バルコニーの傾斜が目視で確認できる。			
3 屋外階段、バルコニーに歩行上支障があるひび割れ、錆、腐食等がある。			
4 屋外階段、バルコニーの手すりや格子にぐらつき、傾きがある。			
5 屋外階段、バルコニーのブラケットのはずれ、取付けビスのゆるみやはずれがある。			

特定空家等と判定 (①判定「状態が著しい」と②周辺への影響と危険の切迫性の両方に○)	
総合判定に移る (①判定「状態が著しい」が○、②周辺への影響と危険の切迫性が×) <u>(①判定「左記の状態にある」が○、②周辺への影響と危険の切迫性が○又は×)</u>	

【特記事項】

(ホ) 門又は塀

※(凡例)「○」:該当する 「×」:該当しない 「無」:判断材料なし 「不」:判定不能

調査項目	①判定		②周辺への影響と危険の切迫性	
	左記の状態にある		通行人や近隣住民へ被害が及ぶ可能性	
		状態が著しい		
1 門又は塀にひび割れ、破損が生じている。 <input type="checkbox"/> 門 ひび割れ ( ) mm 測定不能 (理由: ) <input type="checkbox"/> 塀 ひび割れ ( ) mm 測定不能 (理由: )				
2 門又は塀の傾斜が目視で確認できる。				
3 門扉、門柱及び支柱に錆、変形、ぐらつき等がある。				
4 塀にぐらつき等がある。				
5 コンクリート、ブロック等の塀に著しい亀裂等の劣化、損傷等がある。 <劣化、損傷> ( )ヶ所				
6 塀と控え柱・壁の接続部に著しい亀裂等がある又は離れている。				
7 塀の金属フェンス等に変形、破損、さび、腐食、ゆるみ等がある。 <input type="checkbox"/> 一部 <input type="checkbox"/> 大部分				

特定空家等と判定 (①判定「状態が著しい」と②周辺への影響と危険の切迫性の両方に○)	
総合判定に移る (①判定「状態が著しい」が○、②周辺への影響と危険の切迫性が×)	

【特記事項】

(ホ) 門又は塀

※(凡例)「○」:該当する 「×」:該当しない 「無」:判断材料なし 「不」:判定不能

調査項目	①判定		②周辺への影響と危険の切迫性	
	左記の状態にある		通行人や近隣住民へ被害が及ぶ可能性	
		状態が著しい		
1 門又は塀にひび割れ、破損が生じている。 <input type="checkbox"/> 門 ひび割れ ( ) mm 測定不能 (理由: ) <input type="checkbox"/> 塀 ひび割れ ( ) mm 測定不能 (理由: )				
2 門又は塀の傾斜が目視で確認できる。				
3 門扉、門柱及び支柱に錆、変形、ぐらつき等がある。				
4 塀にぐらつき等がある。				
5 コンクリート、ブロック等の塀に著しい亀裂等の劣化、損傷等がある。 <劣化、損傷> ( )ヶ所				
6 塀と控え柱・壁の接続部に著しい亀裂等がある又は離れている。				
7 塀の金属フェンス等に変形、破損、さび、腐食、ゆるみ等がある。 <input type="checkbox"/> 一部 <input type="checkbox"/> 大部分				

目視観察（状態を記入）〔 〕				
8	基礎部が陥没する等、塀基礎部と周辺地盤との間に相対的な著しい沈下又は隆起がある。			
9	塀の基礎部に著しい亀裂等がある。			
特定空家等と判定 （①判定「状態が著しい」と②周辺への影響と危険の切迫性の両方に○）				
総合判定に移る （①判定「状態が著しい」が○、②周辺への影響と危険の切迫性が×） ①判定「左記の状態にある」が○、②周辺への影響と危険の切迫性が○又は×				
【特記事項】				

## 2 擁壁の状態

※（凡例）「○」：該当する 「×」：該当しない 「無」：判断材料なし 「不」：判定不能

調査項目	①判定	②周辺への影響と危険の切迫性	
		左記の状態にある 状態が著しい	通行人や近隣 住民へ被害が 及ぶ可能性
1 擁壁表面に水がしみ出し、流出している。 <input type="checkbox"/> 一部 <input type="checkbox"/> 大部分 目視観察（状態を記入）〔 〕			
2 水抜き穴の詰まりが生じている。 <input type="checkbox"/> 一部 <input type="checkbox"/> 大部分 目視観察（状態を記入）〔 〕			
3 ひび割れが発生している。 <ひび割れ> 幅（ ）mm ・ （ ）ヶ所 測定不能（理由： ）			

目視観察（状態を記入）〔 〕				
8	基礎部が陥没する等、塀基礎部と周辺地盤との間に相対的な著しい沈下又は隆起がある。			
9	塀の基礎部に著しい亀裂等がある。			
特定空家等と判定 （①判定「状態が著しい」と②周辺への影響と危険の切迫性の両方に○）				
総合判定に移る （①判定「状態が著しい」が○、②周辺への影響と危険の切迫性が×）				
【特記事項】				

## 2 擁壁が老朽化し危険となるおそれがある。

※（凡例）「○」：該当する 「×」：該当しない 「無」：判断材料なし 「不」：判定不能

調査項目	①判定	②周辺への影響と危険の切迫性	
		左記の状態にある 状態が著しい	通行人や近隣 住民へ被害が 及ぶ可能性
1 擁壁表面に水がしみ出し、流出している。 <input type="checkbox"/> 一部 <input type="checkbox"/> 大部分 目視観察（状態を記入）〔 〕			
2 水抜き穴の詰まりが生じている。 <input type="checkbox"/> 一部 <input type="checkbox"/> 大部分 目視観察（状態を記入）〔 〕			
3 ひび割れが発生している。 <ひび割れ> 幅（ ）mm ・ （ ）ヶ所 測定不能（理由： ）			

4	<p>「宅地擁壁老朽化判定マニュアル(案)」(国土交通省都市局都市安全課)に基づき擁壁の種類に応じて、それぞれの基礎点(環境条件・障害状況)と変状点の組み合わせ(合計点)により、擁壁の劣化の背景となる環境条件を十分に把握した上で、老朽化に対する危険度を総合的に評価する。</p> <p>※ 危険度評価区分が大とされる擁壁の他、危険度評価区分が小さいものについても項目毎に著しく保安上危険となるおそれがある状態ではないか確認する。</p>				4	<p>「宅地擁壁老朽化判定マニュアル(案)」(国土交通省都市局都市安全課)に基づき擁壁の種類に応じて、それぞれの基礎点(環境条件・障害状況)と変状点の組み合わせ(合計点)により、擁壁の劣化の背景となる環境条件を十分に把握した上で、老朽化に対する危険度を総合的に評価する。</p> <p>※ 危険度評価区分が大とされる擁壁の他、危険度評価区分が小さいものについても項目毎に著しく保安上危険となるおそれがある状態ではないか確認する。</p>			
<p>特定空家等と判定 (①判定「状態が著しい」と②周辺への影響と危険の切迫性の両方に○)</p>					<p>特定空家等と判定 (①判定「状態が著しい」と②周辺への影響と危険の切迫性の両方に○)</p>				
<p>総合判定に移る (①判定「状態が著しい」が○、②周辺への影響と危険の切迫性が×) <u>(①判定「左記の状態にある」が○、②周辺への影響と危険の切迫性が○又は×)</u></p>					<p>総合判定に移る (①判定「状態が著しい」が○、②周辺への影響と危険の切迫性が×) <u>(①判定「左記の状態にある」が○、②周辺への影響と危険の切迫性が○又は×)</u></p>				
【特記事項】					【特記事項】				

[別紙2] 「そのまま放置すれば著しく衛生上有害となるおそれのある状態」

(1) 建築物又は設備等の破損等が原因で、そのまま放置すれば著しく衛生上有害となるおそれがある。

※(凡例) 「○」:該当する 「×」:該当しない 「無」:判断材料なし 「不」:判断不能

調査項目	①判定		②周辺への影響と危険の切迫性	
	左記の状態にある		吹付け石綿等が飛散し暴露する可能性が高い	地域住民の日常生活に支障を及ぼしている、または支障を及ぼすことが予想される
		状態が著しい		
1 耐火建築物の梁や階段・駐車場などに吹付け石綿等が使用されており飛散する可能性は低い <del>が</del> 使用が目視で確認できる				
2 耐火建築物の梁や階段・駐車場などに吹付け石綿等が使用されており飛散し暴露する <del>可</del> 能性が高い。				
3 住宅の屋根材・壁材・間仕切り材・床材・天井材などにアスベスト含有成型板が使用されており、老朽化などにより破損しているため飛散する <del>可</del> 能性が高い。				
4 浄化槽等の放置、破損等による汚物の流出、 <del>悪臭</del> の発生がある又は <del>悪臭</del> の発生のおそれがある。				
<del>悪臭</del> の発生場所 ( ) <del>悪臭</del> <input type="checkbox"/> 弱い <input type="checkbox"/> 強い				

[別紙2] 「そのまま放置すれば著しく衛生上有害となるおそれのある状態」

(1) 建築物又は設備等の破損等が原因で、そのまま放置すれば著しく衛生上有害となるおそれがある。

※(凡例) 「○」:該当する 「×」:該当しない 「無」:判断材料なし 「不」:判断不能

調査項目	①判定		②周辺への影響と危険の切迫性	
	左記の状態にある		吹付け石綿等が飛散し暴露する可能性が高い	地域住民の日常生活に支障を及ぼしている、または支障を及ぼすことが予想される
		状態が著しい		
1 耐火建築物の梁や階段・駐車場などに吹付け石綿等が使用されており飛散し暴露する <del>お</del> それがある				
2 住宅の屋根材・壁材・間仕切り材・床材・天井材などにアスベスト含有成型板が使用されており、老朽化などにより破損しているため飛散する <del>お</del> それがある				
3 浄化槽等の放置、破損等による汚物の流出、 <del>臭気</del> の発生がある。				
<del>臭気</del> の発生場所 ( ) <del>臭気</del> <input type="checkbox"/> 弱い <input type="checkbox"/> 強い				



特定空家等と判定 (①判定「状態が著しい」と②周辺への影響と危険の切迫性の両方に○)	
総合判定に移る (①判定「状態が著しい」が○、②周辺への影響と危険の切迫性が×) <u>(①判定「左記の状態にある」が○、②周辺への影響と危険の切迫性が○又は×)</u>	

【特記事項】

〔別紙3〕「適切な管理が行われていないことにより著しく景観を損なっている状態」

略

〔別紙4〕「その他周辺の生活環境の保全を図るために放置することが不適切である状態」

略

特定空家等と判定 (①判定「状態が著しい」と②周辺への影響と危険の切迫性の両方に○)	
総合判定に移る (①判定「状態が著しい」が○、②周辺への影響と危険の切迫性が×)	

【特記事項】

〔別紙3〕「適切な管理が行われていないことにより著しく景観を損なっている状態」

略

〔別紙4〕「その他周辺の生活環境の保全を図るために放置することが不適切である状態」

略